

SAISEIKAI NEWS

済生会のマスコットキャラクターが誕生しました

誕生日 2024年3月6日
 性格 おせっかい。
 困っている人を見つけるとほっとけない
 特技 みんなを優しく包み込んで笑顔にすること
 最近の悩み 足元が見えない、
 高めの体脂肪率(血圧は標準値)
 がんばっていること
 ソーシャルインクルージョンの活動を
 世界中に広めるために
 自分の分身をつくること



名前は **さいせい** です!
 これからよろしくお願ひします!

キャラクターのコンセプト
 済生会の『S』とソーシャルインクルージョン
 (Social inclusion)の『S』を組み合わせた、ハート
 マークの顔がチャームポイント。済生会が大事にし
 ているソーシャルインクルージョンの精神に基づ
 いて愛情を持って社会を包み込むイメージです。

健康づくりの豆知識

『入れ歯の扱い方について』



清掃時のポイント

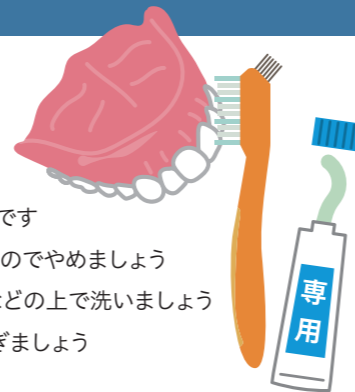
- ・入れ歯用歯ブラシで洗うと、汚れを手早く落とせるのでオススメです
- ・歯磨き粉で入れ歯を磨くと、傷がついて細菌が繁殖しやすくなるのでやめましょう
- ・落下すると変形や破損の原因になるので、しっかり握り洗面器などの上で洗いましょう
- ・洗った後は入れ歯洗浄剤に一晚つけおきして、細菌の繁殖を防ぎましょう

保管時のポイント

- ・入れ歯は乾燥に弱く変形の原因になるので、外した際は水をはった容器に入れて保管しましょう
- ・入れ歯を外した際にティッシュペーパーでくるむと、誤って捨ててしまうことがあるのでやめましょう

入れ歯安定剤を使用する時のポイント

- ・量が多すぎたり、端のほうにつけすぎたりすると、入れ歯からはみ出してベタベタするので注意しましょう
- ・1箇所適切な塗布量は、アズキ1個分です
- ・入れ歯安定剤の使用頻度が高い方は、入れ歯が合っていない可能性があるのだからかかりつけ歯科医に相談しましょう



皆様の「心」を
 済生の「心」に生かす

なでしこ
 基金

「なでしこ基金」へのご寄付ありがとうございました。
 心よりお礼申し上げます。
 令和6年4月～令和6年6月

- ・小倉 律子様 600万円
- ・匿名 300万円
- ・野村 八重子様 5万円
- ・匿名 1万円
- ・募金箱 1万4,082円

ご報告 2023年度「なでしこ基金」より
 下記品を購入致しました。

- ・通信機器改修
- ・9階東棟医療機器装置等

ご報告と共に御礼申し上げます。
 院内で活用させていただきます。

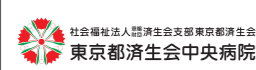
つなぐ。

さいちゅう
 レター

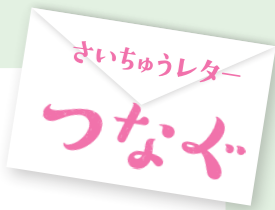
特集 患者さんの負担の少ない
 脳血管内治療



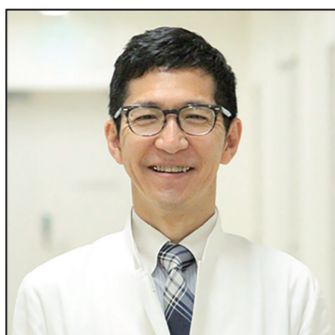
2024年
 7月 夏号
 vol.40



患者さんの負担の少ない脳血管内治療



脳梗塞や脳出血、くも膜下出血など脳の血管に起こるさまざまな病気の治療法として、増えてきているのがカテーテルを用いた脳血管内治療です。脳血管内治療とはいったいどんな治療なのか、当院の脳血管内治療科の山田 哲医師が紹介します。



脳神経内科医長／
脳血管内治療科医長

山田 哲
Yamada Satoshi

日本神経学会認定 神経内科専門医
日本内科学会認定 総合内科専門医・指導医
日本脳卒中学会 専門医
日本脳神経血管内治療学会 専門医
日本医師会認定 産業医

手足の血管からカテーテルを挿入 脳血管の病気を血管の中から治療

脳血管内治療は脳の血管にできる病気に対して、手足の付け根の動脈からカテーテルと呼ばれる細い管を挿入し、いろいろなデバイスを用いて血管の中から治療する方法です。対象となるのは、くも膜下出血の原因となる破裂脳動脈瘤や、破裂予防のための未破裂脳動脈瘤。脳出血の原因となる、動脈と静脈が交通してしまう硬膜動静脈瘻(d-AVF)や脳動静脈奇形(AVM)。アテローム血栓性脳梗塞の原因となる脳動脈・頸動脈狭窄症や、心臓にできた血の塊が脳に運ばれ脳の血管を詰まらせてしまう心原性脳塞栓症などです。治療方法は、脳動脈瘤に対してはコイルやステントを用いて治療します。脳動脈・頸動脈狭窄症に対しては、細くなった血管を拡げるためにバルーンやステントでの治療を行います。心原性脳塞栓症に対しては、血の塊を取り除いて血流を再開させる血栓回収療法を行います。

病態に合わせて適切な治療を選択 血管内治療のメリットは侵襲の低さ

脳の血管の病気の治療には、脳神経外科治療と脳血管内治療の方法があり、病態に応じて最も適した方法で治療を行うことが重要となります。例えば脳動脈瘤の治療の場合、脳の表面の近くの脳動脈瘤で、開頭手術のほうが安全に治療を行うことができるケースでは脳外科治療を選択します。また、脳の表面から深いところにある脳動脈瘤で、脳血管内治療のほうが安全に治療を行うことができるケースでは脳血管内治療を選択します。脳神経外科医と密接な連携を取りながら患者さんに安心・安全な治療が届けられるよう努めています。

脳血管内治療の優れている点はやはり侵襲度が低いということです。開頭手術は頭蓋骨を開けることになり、頸動脈狭窄の治療であれば首に約5cmほどの傷ができてしまいます。さらに、脳血管内治療は局所麻酔で行うこともできるので、全身麻酔が難しいケースでも治療が可能です。患者さんの負担が少なく、入院日数も脳神経外科的治療に比べて半分ほどになります。

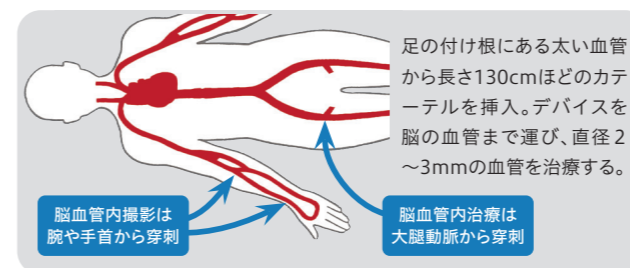


手術は、脳神経内科医、脳神経外科医のほか
コメディカルの協力によるチーム医療で行われる。

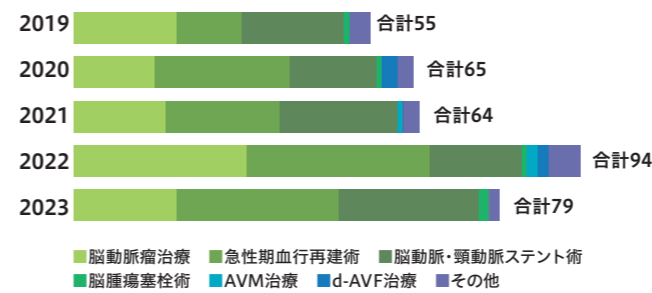


血管内に造影剤を注入し、その画像をモニターに映し出し
血管内部の状態を確認しながら安全に進めていく。

カテーテルによる脳血管内治療



症例数



脳神経外科と脳神経内科の協力で 24時間365日脳卒中の患者を受け入れ

当院は脳卒中診療に力を入れて取り組んでおり、24時間365日体制で脳卒中の患者さんをお断りすることなく受け入れています。当院の脳血管内治療科には、脳神経外科医、脳神経内科医がともに在籍しており、脳外科的なアプローチも脳内科的なアプローチもバランスよく提供できるという強みがあります。特に脳梗塞に対する血栓回収療法は1秒でも早く血の塊を取り除いたほうが回復がよいため、2人の脳血管内治療専門医に加え、3人の血栓回収施行医による充実の5人体制で診療を行っています。夜間や休日なども院内のコミュニケーションツールを駆使して遠隔での画像のやり取りや患者さんの情報を共有することで適切な対応ができるようになっており、必要があれば医師がすぐに駆け付けることで迅速な治療へとつなげています。

丁寧な説明と充実の体制で安全な治療をめざす 脳血管の病気について気になることは相談を

地域の先生方におかれましては、CT、MRIなどで脳梗塞、脳出血を指摘された患者さんや、頸動脈狭窄や脳動脈瘤のある患者さんがいらっやいましたらご紹介ください。脳血管内治療の対象となるすべての病気に対応できる体制を整えております。患者さんにとっては、頭の手術は不安が大きいと思います。当科では、丁寧にわかりやすく説明をすることで、安心・安全に治療を受けていただけるように努めています。手足が動かしくなくなった、言葉が出にくいなどの症状があればすぐにご連絡ください。また、脳卒中や脳動脈瘤が心配といったことも気軽にご相談ください。必要に応じて、脳梗塞や脳動脈瘤の有無や頭頸部血管が狭くなっている所がないかを調べ、今後の方針を立てていければと思います。

COLUMN

1秒でも早い治療が予後を決める 脳卒中を疑ったら迷わず救急車を

脳の血管が破れたり詰まったりして起こる脳卒中は1分1秒を争う病気です。吐き気を伴う経験したことのないような激しい頭痛、顔や手足の片側の運動麻痺や痺れ、呂律が回らないなどの症状があればすぐに救急車を呼んでください。そのような症状が一過性であったとしても、24時間以内に再発する可能性が高いため、必ず受診をしてください。

